

(平成16年2月時点)

## 地域水田農業ビジョン策定に係る取組事例

市町村名 新潟県岩船郡神林村

☆新潟市の北東約60km、岩船郡のほぼ中央に位置し、主要国道が村を縦貫するなど交通条件に恵まれた緑豊かな村である。  
☆村の中心産業である農業の近代化のため、約2,000haの農地を県営ほ場整備事業により整備し、効率的な農業経営を実現している。現在は消費者ニーズを捉えた高品質かつ安全で安心できるおいしい「神林米」づくりを目指している。



### 取組のポイント

- ☆村農業振興連絡会議を中心とした重層な推進体制により農業者の合意形成を図り、将来を展望した水田農業ビジョンづくりを実現
- ☆「食の安全宣言」を採択し、「売れる米づくり」のための安全でおいしい「神林米」ブランド確立に向けた3ヶ年計画とビジョンの一体化
- ☆「集落農業」と担い手農家の育成を有機的に結合した地域農業の実施
- ☆県が推進する「地域農業システムづくり運動」と一体となった取組を実施

### 取組のキーワード

★★「食の安全宣言」に基づく「売れる米づくり」★★



12月12日開催された「水田農業ビジョン農家組合長説明会」の様様



8月4日に開催された「集落農業推進協議会総会」の様様

## 取組内容

- 消費者ニーズにあった安心安全な食糧生産を目指すため、稲作においては土壌改良剤の全ほ場散布、倒伏軽減材の散布禁止、畦畔除草剤の散布抑制、栽培履歴記帳等を基本とした「食の安全宣言」（15年6月）を村、JA等関係機関で連携し、集落段階からの話し合いを積み上げ採択し、「神林村栽培指針」に基づく「売れる米づくり」を平成15年度より3ヶ年計画で実施。この中で、需要の高い特別栽培米、早生品種の生産振興を実施。
- 担い手については、認定農業者、集落営農推進協議会で認定した担い手、村内の水稲及び転作作物の生産組織を担い手として位置づけ。
- 転作については、ほ場整備により汎用化された水田において、市場性の高い高品質な作物が量も含めて安定的に収穫できるよう、排水対策、生産対策を推進。現在、転作助成金はブロックローテーションによる団地に交付しているが、平成16年度からの交付金についても、高品質の転作作物を生産するため、生産組織等が取り組む団地に対して重点的に交付。また、水田農業においては、品質・収穫の向上対策から、ほ場整備後の暗渠を補完する弾丸暗渠、もみがら暗渠も引き続き実施。

## 地域からのメッセージ

- ・平成22年度を目標とする米政策改革が始まります。  
16年度からの3ヶ年の対策は22年度以降を想定した継続性のあるものでなければならないと考えています。  
農産物生産のシステム構築において、農業という産業の重要なファクターである持続性に重点を置いて推進を図ります。
- ・農業は健康面、環境面を考慮すると生命に直結した産業といえます。  
神林村はその農業を基幹とする村であり、食糧生産基地という役目と同時に生命産業としての役割も担っており、環境に負荷の少ない方法で、市場性があり、消費者に求められる安全な食糧の生産を推進します。

## 策定スケジュール

- 15年 5月 水田ビジョン事務担当者打合せ会議（第1回）  
 8月 関係機関連絡会議において進め方について方針決定  
 9月 水田ビジョン事務担当者打合せ会議（第2回）  
 水田ビジョン策定検討委員会  
 11月 転作作物別ごとに生産組織、関係農家組合長に米政策改革、産地づくり交付金の交付見込み金額を説明  
 水田農業戦略プラン打合せ会議  
 12月 集落説明（一部）  
 水田農業戦略プラン打合せ会議  
 農家組合長会議において米政策改革、産地づくり交付金の交付金について説明
- 16年 1月 **水田農業ビジョン案作成**  
 水田農業推進協議会の開催  
 集落説明会（～2月）  
 2月 水田農業確立推進協議会  
 3月 水田農業確立推進協議会（**ビジョン最終決定**）

## 推進体制(概略)

